

共用品推進機構だより 2016年02月26日(43)

目次

(200) 共用品推進機構関連記事

- ▽「いつまでも元気で働く10のコツ より多くの人が使えるモノ・サービス
／星川安之」
- ▽「目からウロコの『モノ・コト』語り 繰り返された工夫の歴史／星川安之」
- ▽「ブログを更新しました！」

(201) 賛助会員ニュース

- ▽「折って手で裂ける 凸版、紙パック分別簡単」

(202) 行政関連記事

- ▽「『コミュニケーション支援用絵記号原則』と『誘導案内用音サイン』の国際規格が発行されました～日本発の国際標準で、より多くの人が暮らしやすい社会に～／経済産業省」

(203) 新刊紹介

- ▽『大きな字でわかりやすい iPad 超入門 最新版』
- ▽『世界を変える知的障害者 ロバート・マーティンの軌跡』
- ▽『障害者家族の理解と障害者就労支援 県立広島大学での実践的試み』
- ▽『障害のある子の支援計画作成事例集
発達を支える障害児支援利用計画と個別支援計画』

(200) 共用品推進機構関連記事

- ▼「いつまでも元気で働く10のコツ より多くの人が使えるモノ・サービス
／星川安之」

共用品推進機構は、毎年秋に行われる国際福祉機器展（HGR）の主催者特別コーナー「高齢者・障害者等への生活支援コーナー」の企画・運営への協力をさせていただいています。

今回は、アンケート調査を踏まえて「働く」をテーマとし、「いつまでも元気に働く 10 のコツ展」を企画、実施しました。

展示コーナーの根幹になっているのが、60 歳以上の人を対象とした人材派遣会社、高齢社及びかじワんに登録し、働いている人たちに行った「楽しく働くコツ」のアンケート結果です。

アンケートの回答を分類し、「いつまでも元気で働く 10 のコツ」としてパネルを作り、会場に表示しました。

会場の入り口には、高齢社及び関連会社で実際に勤務しておられる方 2 名をイラストで表示し、お二人が、仕事の時に持ち歩いている鞆とその中身を展示し、多くの来場者の関心を引きました。

少子高齢社会を迎え、どの国よりも早く、超高齢社会に突入した日本にとって、喫緊に考えていくテーマです。

元気でしかも楽しく働くとはどういうことか。今後も、このテーマを考えていきたいと思っています。

（福祉介護テクノプラス 2015 年 12 月より抜粋）

▼「目からウロコの『モノ・コト』語り 繰り返された工夫の歴史／星川安之」

みなさんは、「ダーツ」というゲームをご存知ですか？直径 50 センチほどの丸い的に、羽の付いた矢を投げ、当たった場所の点数を計算して競うゲームです。

国際的なダーツ競技では、より多くの点数を取った人が勝ちという訳ではありません。501 点から、的に当たった点数を引き算し、決められた回数の中で、いかに早く自分の点数をゼロ点にするかを競いあいます。そのため、的に当てる技術と共に、時には、臨機応変に作戦を変える柔軟性も必要となり、年齢の高低、障害の有無に関わらずいつまでも楽しめるゲームです。

より多くの人に参加できるように、車椅子使用者が行う場合は、的の高さを低くすることも公式ルールで認められています。公式ではありませんが、下から投げer人のために、先が磁石になっているものや、的に床に広げて、矢をおはじき状のものに変え、手の力が弱い人も参加できる工夫も行われています。

目の不自由な人には、的に位置が分かるように投げる前に的に音を出したり、英国では的に中心に細い糸を付け、片手でその紐を持ち、的に確認す

る工夫をしてゲームを楽しんでいる人たちもいます。

ダーツは、多くの人の知恵によって、より多くの人が楽しめる工夫の歴史でもあります。やったことがない！という方も、是非一度、ダーツの楽しさを味わってみてはいかがでしょうか？

(エルダリープレス—シニアライフ版— 2016年2月号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

- ・慶應義塾大学で公開研究発表会
- ・CPE セミナーで講義
- ・銚子市社会福祉大会・精神保健大会で講演
- ・銚子市の新聞「日刊大衆日報」に掲載
- ・「AD シンポジウム 2016」開催

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

(201) 賛助会員ニュース

▼「折って手で裂ける 凸版、紙パック分別簡単」

凸版印刷は6月、口栓が付いた液体用の紙容器でリサイクル性能を高めた新製品を売り出す。消費者はハサミを使わずに手で口栓が付いた頭部と胴部を引き裂けるため、分別がしやすくなる特徴がある。

「EP-PAK(イーピーパック)オルカット」という名称で販売する。消費者はミシン目に沿って前後に折り曲げて手で引き裂くだけで、口栓が付いた頭部と胴部を切り分けられる。これにより、開口部が広くなり、リサイクルできる胴部と可燃ごみになる底部が分けやすくなる。

これまでは中身の品質を長期間保つために、容器は頑丈でシール部も強く接着しており、使用済みの容器を分別しにくい課題があった。既存の充填成型機を部分的に改良するだけで済む。

(日経産業新聞 2月23日11面より抜粋)

(202) 行政関連記事

- ▼ 『コミュニケーション支援用絵記号原則』と『誘導案内用音サイン』の国際規格が発行されました～日本発の国際標準で、より多くの人が暮らしやすい社会に～／経済産業省」

・ コミュニケーション支援用絵記号原則

本年1月に発行された国際規格 ISO 19027（絵記号を使用したコミュニケーション支援用ボードのためのデザイン原則）は、JIS T0103（コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則）に基づいて日本が提案したものです。

誤認識が起こりにくくわかりやすい絵記号を作成するための10のデザイン原則とともに、絵記号の共通化すべき表示方法や、印刷する「ボード」の望ましい特性を規定しています。

・ 誘導案内用音サイン

本年2月に発行された ISO 19029（アクセシブルデザインー公共施設における聴覚的誘導信号）は、平成26年に国内で制定された JIS T0902（公共空間に設置する移動支援用音案内）を基に日本が提案したものです。

この規格の中では、諸外国の多様な環境下での使用を考慮し、言葉を含まないサイン音に範囲を限定したうえで、「誘導用」のサイン音として聞き取りやすい音の特性（図. 信号の包絡線）や、再生用スピーカーの設置方法等を規定しています。

「コミュニケーション支援用絵記号原則」と「誘導案内用音サイン」の国際規格が発行されました～日本発の国際標準で、より多くの人が暮らしやすい社会に～（METI/経済産業省）

<http://www.meti.go.jp/press/2015/02/20160224002/20160224002.html>

（203）新刊紹介

- ▼ 『大きな字でわかりやすい iPad 超入門 最新版』

iPad の解説書。文字を入力する、インターネットのウェブページを見る、写真や動画を楽しむ、メールを使いこなすなど、iPad でできることを大きな字でわかりやすく説明する。iPad Air/mini/Pro 全対応。

著：リンクアップ
発行：技術評論社
本体価格：1280 円（税別）
ISBN：978-4-7741-7911-7

▼『世界を変える知的障害者 ロバート・マーティンの軌跡』

親の虐待、精神遅滞児施設での放置、暴力に苦しみ、何もわからない無価値の存在と思われていたニュージーランドの知的障害者が、「人」として認められ国際社会を動かすまでの存在となっていく感動の物語。

著：ジョン・マクレー
監訳：長瀬修（ながせ・おさむ）
発行：現代書館
本体価格：2200 円（税別）
ISBN：978-4-7684-3544-1

▼『障害者家族の理解と障害者就労支援 県立広島大学での実践的試み』

障害者やその家族の問題を父親、母親、きょうだいの立場から取り上げ、障害者の就労支援、大学における障害者支援活動を紹介。障害者福祉の実践的取組から見えてくるもの、大学の障害者支援活動の利点なども論じる。

著：三原博光（みはら・ひろみつ）
発行：関西学院大学出版会
本体価格：2000 円（税別）
ISBN：978-4-86283-213-9

▼『障害のある子の支援計画作成事例集

発達を支える障害児支援利用計画と個別支援計画』

アセスメントから情報やニーズの整理、障害児支援利用計画の作成、個別支援会議の概要、個別支援計画の作成、モニタリングの視点まで、障害のある子の支援の流れをさまざまな実践事例を通して解説する。

編集：日本相談支援専門員協会
発行：中央法規出版
本体価格：2600 円（税別）
ISBN：978-4-8058-5292-7

(編集後記)

2月6日の朝日新聞朝刊に、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、都内の道路案内標識が変更になるという記事が掲載されていました。例を挙げると「Tocho kita (都庁北)」は「Tokyo Metropolitan Government -N.」、
「Eitaidori (永代通り)」は「Eitai-dori Ave.」へと切り替わるそうです。

1964年の東京オリンピックの時には多くのピクトグラムがデザインされ、その後、普及していきました。新幹線の開通もこの年。1964年(昭和39年)生まれの人たちは、生まれ年の話になると「東京オリンピックの年に生まれたんだね」とよく言われたそうです。

2020年がそれほど象徴的な年になるかはわかりませんが、2020年前後の東京、その他の都市、そして日本がどのように変化していくか、想像が膨らみます。(金丸淳子)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース(ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>